

首里城 能楽特別公演

夜の首里城に集う・・・

「未来へつなぐ」文化の継承を願う特別な2日間

琉球王国の歴史や文化を象徴する首里城正殿完成の記念の年に、首里城内に特設舞台を設置し、能楽と琉球舞踊の祭典を開催。琉球王朝時代の賑わいを彷彿とさせる華やかな競演をお届けします。

日程 2026年
1月14日(水)・1月15日(木)

開演 19:00 (開場／18:30 終演／20:40 予定)

会場 首里城公園 奉神門・下之御庭(しちやめうな一)

※夜間は首里城公園の駐車場はご利用いただけません。
近隣の駐車場又は、公共の交通機関をご利用ください。



チケット料金

(全席自由席)

3,500円

前売りチケット販売期間

12月19日(金) 10:00 ▶ 1月13日(火)

※販売期間を過ぎてからのチケットのご購入については当日券になります。
販売期間にかかわらず、チケットが売り切れ次第、販売を終了させていただきますので予めご了承ください。

入場受付

・受付場所:木曳門(こびきもん)

- ・「木曳門」付近にお並びいただきます。
(会場には木曳門からのご入場となります。)
- ・会場となる奉神門・下之御庭の付近ではお待ちいただけません。
- ・18:00頃より「木曳門」付近で係員が並び列の誘導をいたします。
係員の指示に従ってください。
- ・開場18:30以降、並び列の前方より順次園内にお入りいただけます。
- ・混雑を避けるため、お待ちいただく場合がございますのでご了承ください。

雨天の場合

◎雨天の場合は、会場を変更いたします。

・雨天時会場:首里杜館 ガイダンスホール

能楽協会サイトにて、
開催場所をご案内いたします。



※一部立見席となる場合があります。予めご了承ください。



チケット購入

■ カンフェティ

050-3092-0051

(有人対応) 平日 10:00～17:00



■ ぴあ <https://t.pia.jp/>

セブンイレブン全国各店舗

Pコード 539-293



楽しむ
能楽
プロジェクト!

首里城 能楽特別公演

半能
「石橋 大獅子」

能
「羽衣」

能
「海人」

詳しくはコチラ



2026年1月14日(水)・15日(木)
開演19:00(開場18:30 終演20:40予定)
会場:首里城公園 奉神門・下之御庭

能楽とは...

日本を代表する伝統芸能・能楽。約700年続く、現存する世界最古の舞台芸術とも呼ばれている。大らかな笑いに包まれる「狂言」、歴史的物語や伝説などを題材とした「能」、二つをあわせて能楽という。組踊とのかかわりも深く、玉城朝薫(たまぐすくちょうくん/組踊の創始者)は能楽などの芸能を参考にして、組踊を創り出した。



<主催> 公益社団法人能楽協会

<お問合せ> 03-5925-3871

※能楽協会では、チケット販売をしておりません。上記取扱所にてお求めください。

www.nohgaku.or.jp

楽しむ能楽



助成

文化庁文化芸術振興費補助金
(舞台芸術等総合支援事業(全国キャラバン))
独立行政法人日本芸術文化振興会



能「海人」あま

半能「石橋 大獅子」しゃっきょう おおじし

半能「石橋 大獅子」しゃっきょう おおじし

能「羽衣」はごろも

楽しむ能楽

のうがくプロジェクト!

首里城 能楽特別公演

首里城は歴史的にも能楽との繋がりが深い場所で、かつて首里城御庭(うなー)には、冊封使歓待の宴のため能舞台形式の舞台が設置されていました。そのような歴史に思いを馳せつつ、美しくライトアップされた首里城での特別な夜をお楽しみください。

見どころ

半能「石橋 大獅子 (しゃっきょう おおじし)」

紅白の霊獣・獅子が登場し、絢爛豪華な舞を舞う祝言の曲です。奉神門の前での上演となり、奉神門の奥に見える正殿を臨みながら、守り神シーサーを想起させる二匹の豪快な獅子舞でオープニングを飾ります。



能「海人 (あま)」

海女の玉取り伝説をドラマチックに描く人気曲。舞台は香川県さぬき市志度(しど)の浦。亡母を追善しようと訪れた藤原房前(ふさざき)の大臣の前に一人の海女が現れ、わが子のために命を投げ打って龍神に奪われた宝珠を取り返した海女の話語り。その海女こそ房前の母であり、自分はその亡霊であると告げ消え失せます。房前が供養をするうち亡霊は龍女の姿で現れ、舞を舞って成仏を喜ぶのです。子のために命を懸ける海女の気迫を通して、母子の深い情愛を描く作品です。



能「羽衣 (はごろも)」

美しい天女の舞が見どころの能の代表的演目。静岡県・三保の松原に住む漁師・白龍(はくりょう)は、松の枝に掛けてある美しい衣を見つけ自分のものにしようしますが、天女が現れ返してほしいと懇願します。白龍は、舞を見せてくれるなら衣を返そうと答え、喜んだ天女は優雅で美しい舞を舞い、数々の宝を降らして天空へと帰っていくのでした。各地に伝わる羽衣伝説をもとにした作品で、まるで極楽世界にいるような感覚になります。「朝薫五番」の組踊「銘苅子」の基になった曲としても有名であり、能楽と琉球の文化の深いつながりが感じられる曲です。



琉球舞踊「かぎやで風 (かじゃでいふう)」

戌の御冠船(尚育王即位の宴)では、老人老女と題して上演された祝儀舞踊です。今回は、百二十歳の老人と老女に、若衆(少年役)を配した華やかな構成でご覧いただけます。

琉球舞踊「天川 (あまかー)」

深い情愛で結ばれた男女の仲を、天川の池に遊ぶおしどりに例えて表現される女踊りの名作です。優美な旋律の天川節・仲順節の2曲構成で、柔らかな手振りや足使いは見どころです。

1日目 | 1月14日(水)

《オープニングパフォーマンス》

半能「石橋 大獅子」

シテ	白獅子	坂井 音雅
ツレ	赤獅子	坂井 音晴

解説 観世 喜正

能「海人」

シテ	海人/龍女	金剛 龍謹
子方	房前大臣	金剛 謹一朗
ワキ	従 臣	野口 能弘
ワキツレ	従 者	野口 琢弘
アイ	浦 人	野村 万禄

笛	竹市 学
小鼓	幸 正佳
大鼓	安福 光雄
太鼓	吉谷 潔

地頭	金剛 永謹
主後見	廣田 幸稔

2日目 | 1月15日(木)

《オープニングパフォーマンス》

半能「石橋 大獅子」

シテ	白獅子	坂井 音雅
ツレ	赤獅子	坂井 音隆

解説 観世 喜正

琉球舞踊「かぎやで風」

老人	嘉数 道彦	琉球舞踊/地謡
老女	金城 真次	歌三線 山城 暁
若衆	大浜 暢明	歌三線 仲村 逸夫
若衆	玉城 匠	箏 宮里 秀明
		笛 宇保 朝輝
		胡弓 新垣 俊道
		太鼓 久志 大樹

琉球舞踊「天川」

宮城 茂雄

能「羽衣」

シテ	天 人	坂井 音雅
ワキ	白 龍	野口 能弘

笛	竹市 学	地頭	観世 喜正
小鼓	大倉 源次郎	主後見	坂井 音晴
大鼓	安福 光雄		
太鼓	吉谷 潔		

主な出演者のプロフィール



坂井 音雅
(さかい おとまさ)

能楽師。
シテ方観世流。
重要無形文化財
保持者総合認定。



金剛 龍謹
(こんごう たつり)

能楽師。
シテ方金剛流。
重要無形文化財
保持者総合認定。



金剛 永謹
(こんごう ひさり)

能楽師。シテ方金剛流。26世宗家。
重要無形文化財保持者各個認定(人間国宝)。



大倉 源次郎
(おおくら げんじろう)

能楽師。小鼓方大倉流。16世宗家。
重要無形文化財保持者各個認定(人間国宝)。



山城 暁
(やましろ あきら)

琉球古典音楽家。伝統組踊保存会会長。重要無形文化財「組踊」「琉球舞踊」保持者総合認定。



嘉数 道彦
(かかず みちひこ)

琉球舞踊家。宮城流能里乃会師範。沖縄県立芸術大学准教授。



金城 真次
(きんじょう しんじ)

琉球舞踊家。玉城流扇寿会師範。国立劇場おきなわ芸術監督。



宮城 茂雄
(みやぎ しげお)

琉球舞踊家。宮城流師範。沖縄国際大学非常勤講師。